

資料6

平成29年1月16日

警 察 庁

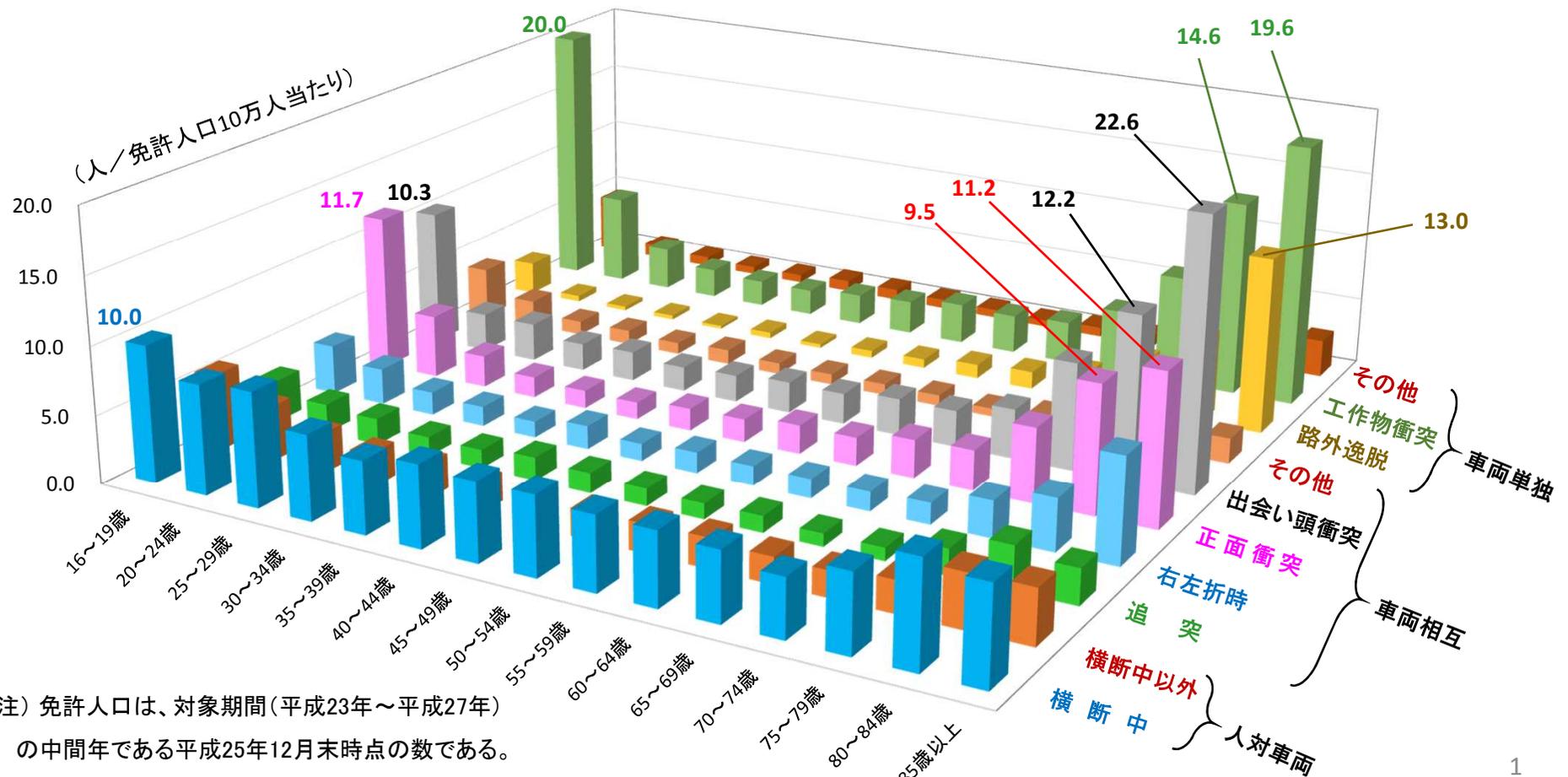
高齢運転者に係る交通事故分析

1) 全年齢層における類型別死亡事故件数(平成23~27年合計)

- 免許人口10万人当たりの類型別死亡事故件数を見ても、若年運転者では工作物衝突が際立って多く、正面衝突、出会い頭、横断中の死亡事故が多い。
- 一方、高齢運転者は全体的に件数が多く、出会い頭や工作物衝突、路外逸脱や正面衝突が特に多く、これらは年齢が上がるほど件数が増加する傾向にある。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)における年齢層別・類型別死亡事故件数(平成23~27年の5年合計)

類型別死亡事故件数(免許人口10万人当たり)

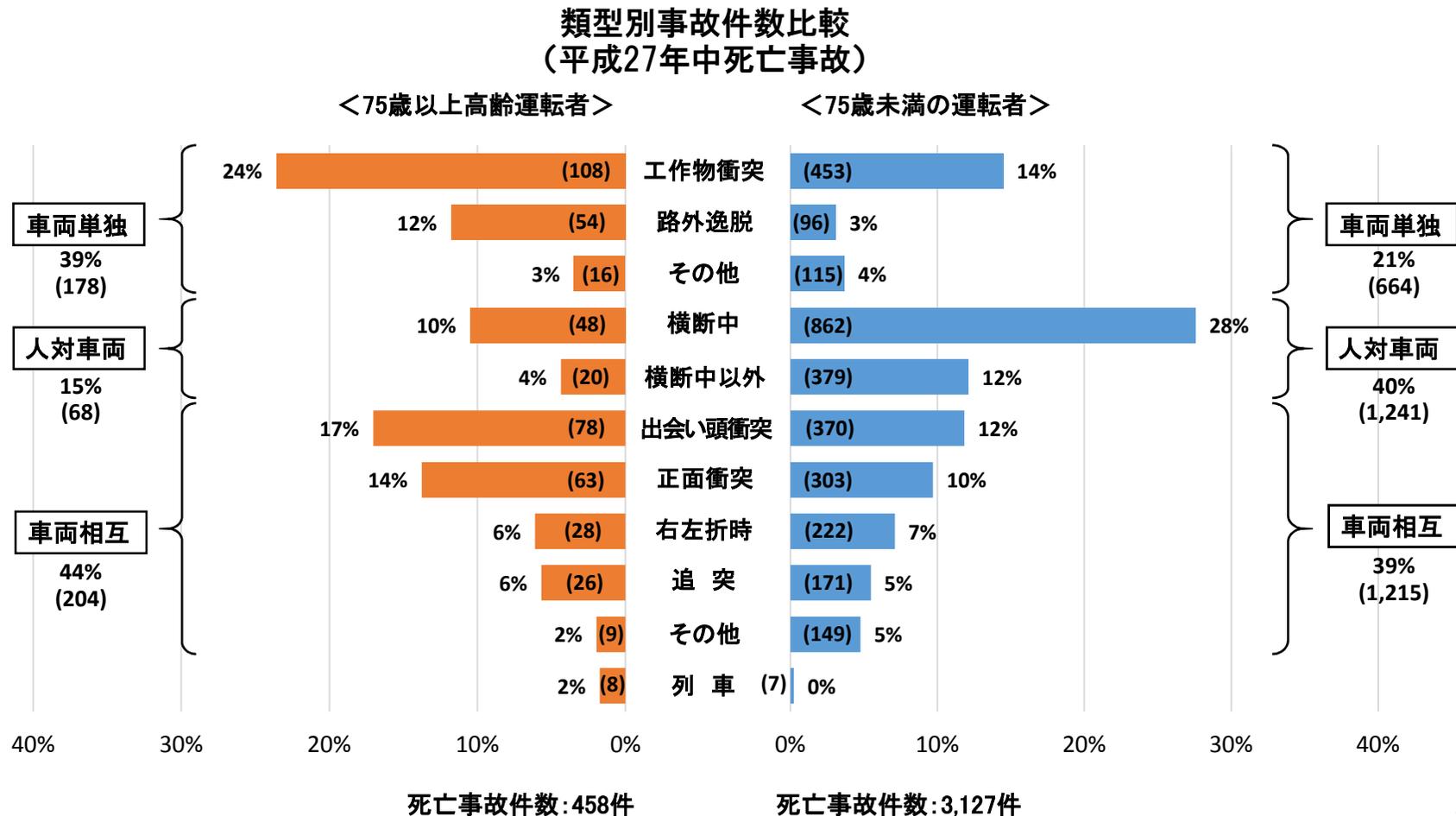


(注) 免許人口は、対象期間(平成23年~平成27年)の中間年である平成25年12月末時点の数である。
以下、本資料において対象期間を5年としているものは同じ。

2) 75歳以上高齢運転者死亡事故の類型別比較(平成27年)

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について類型別に見てみると、75歳未満の運転者と比較して単独事故による死亡事故が多くなっており、具体的類型として工作物衝突、出会い頭衝突、正面衝突の順に多く発生している。
- 一方、75歳未満の運転者による死亡事故については人対車両による死亡事故が多くなっており、具体的な類型として横断中、工作物衝突の順に多く発生している。

図 原付以上第一当事者の類型別死亡事故件数比較(平成27年中)

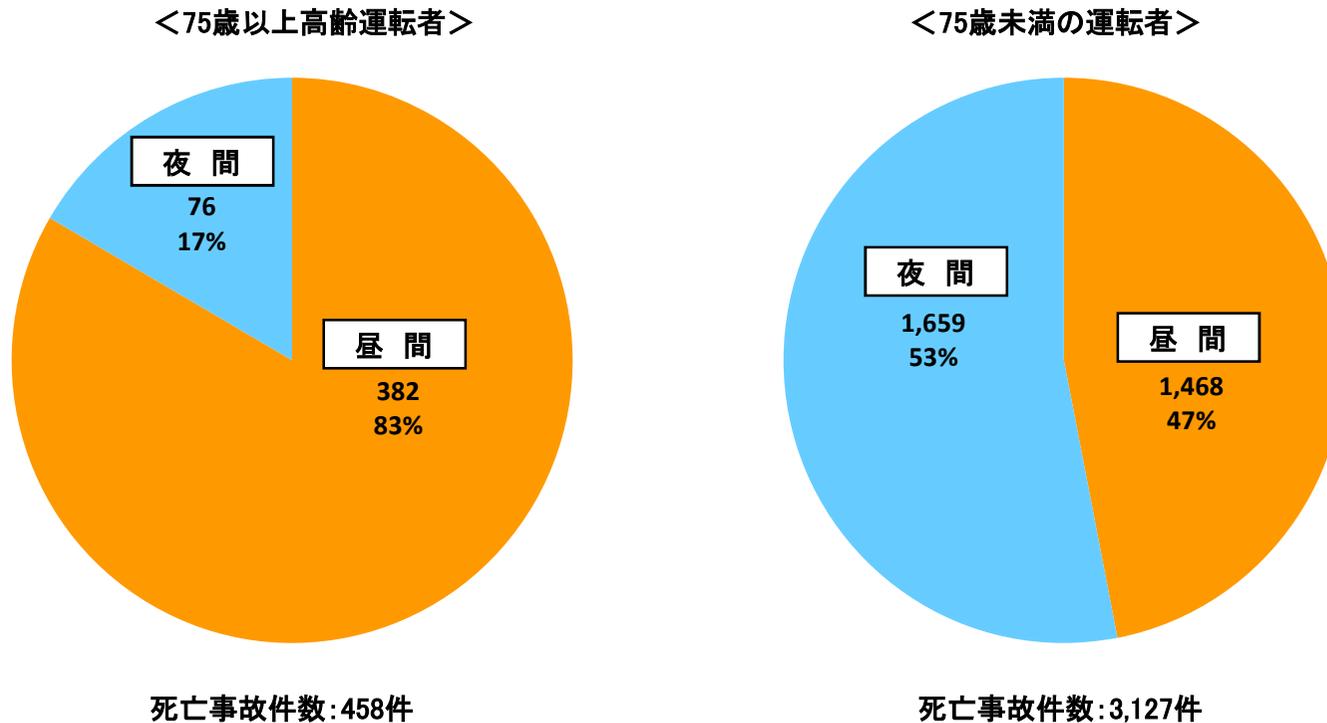


3) 75歳以上高齢運転者死亡事故の発生時間比較（平成27年）

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について、全体の約8割の死亡事故は昼間に発生している。
- 一方、75歳未満の運転者による死亡事故は、夜間に発生する割合が5割を超えている。

図 原付以上第一当事者の死亡事故発生時間の比較(平成27年中)

死亡事故発生時間の比較 (平成27年中死亡事故)

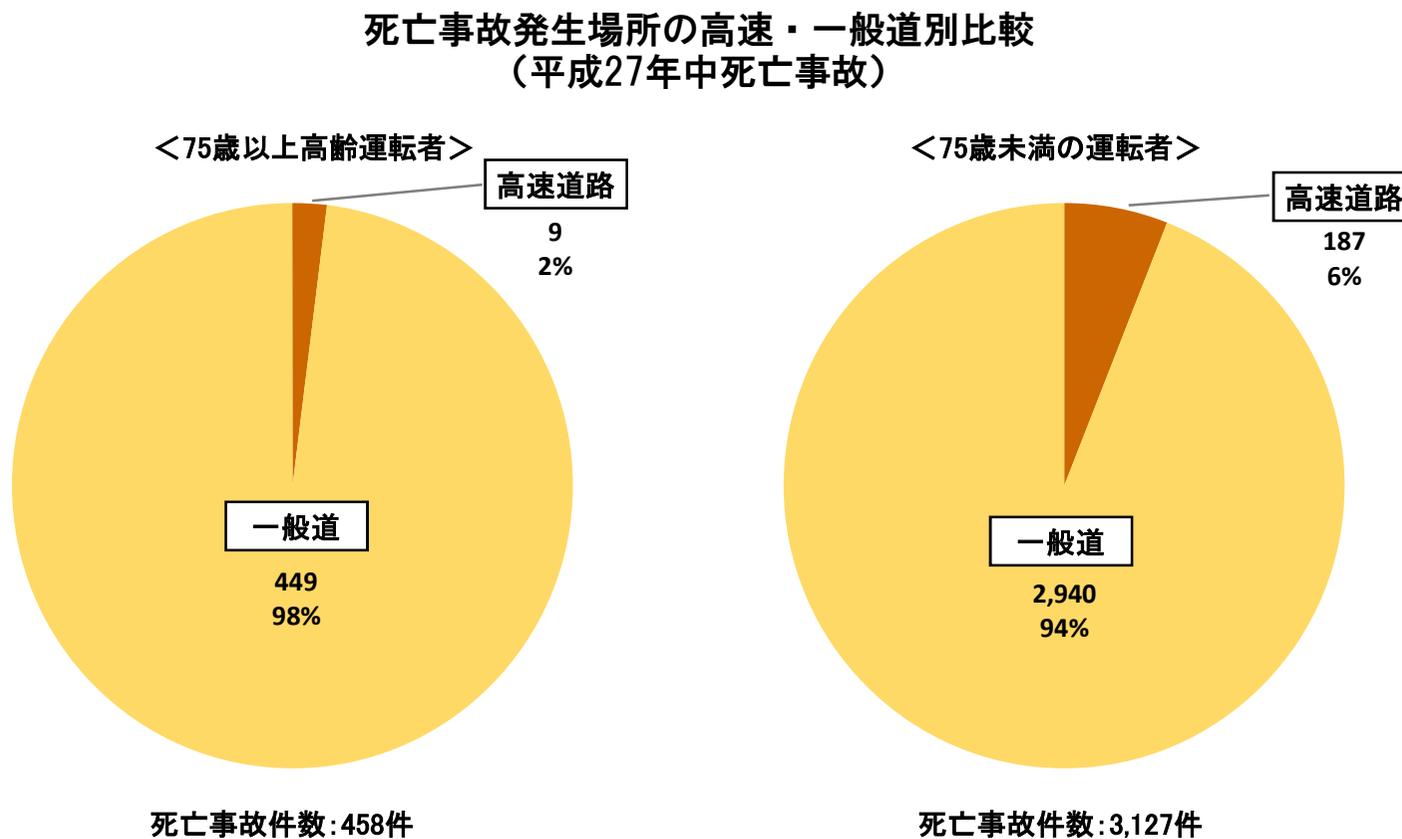


(注)「昼間」とは日の出から日没までを、「夜間」とは日没から日の出までをいう。

4) 75歳以上高齢運転者死亡事故の発生場所比較(1) (平成27年)

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について、全体の98%は一般道で発生し、高速道路で発生した死亡事故は全体の2%である。
- 一方、75歳未満の運転者による死亡事故は、全体のうち約6%は高速道路において発生している。

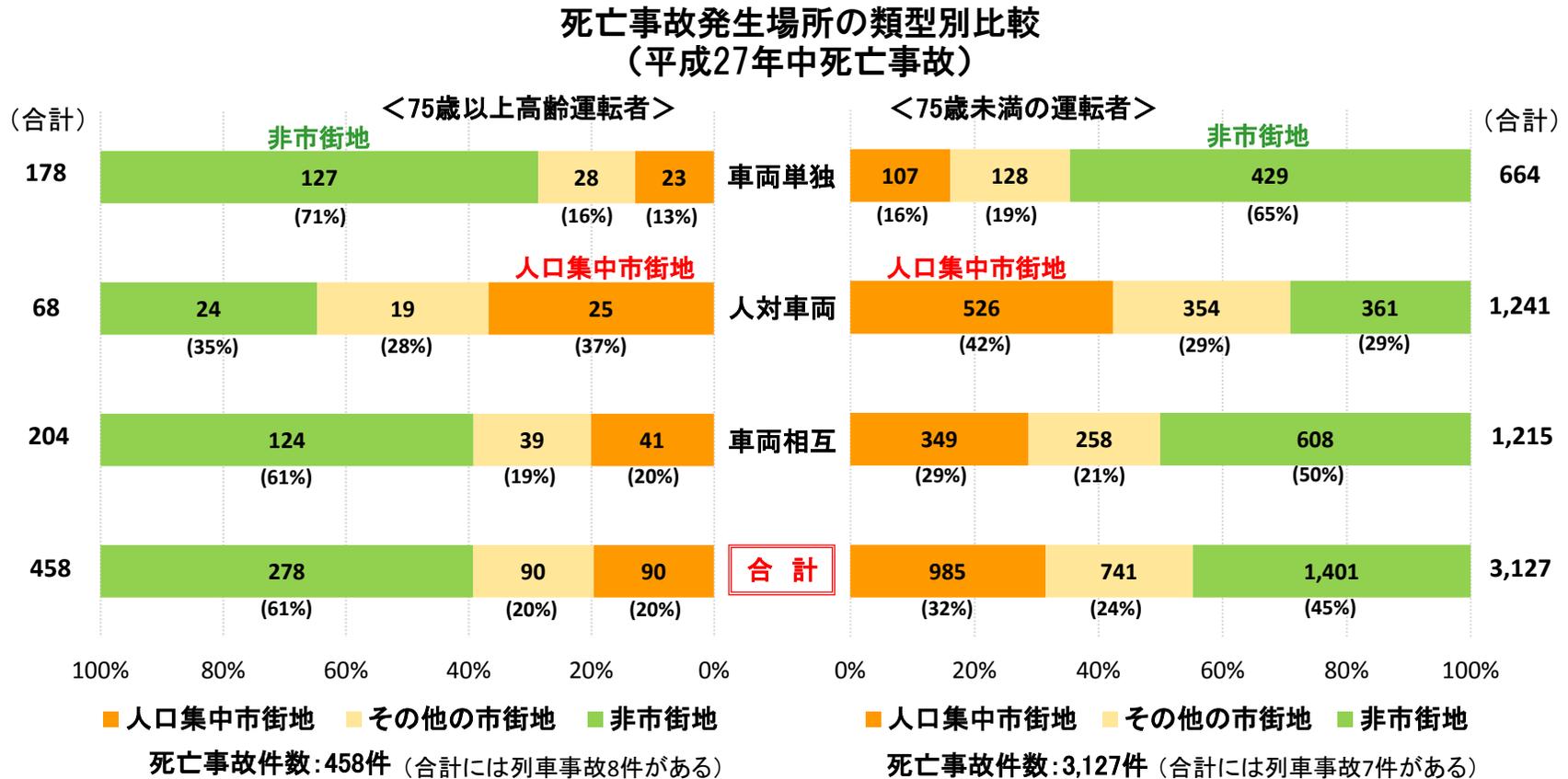
図 原付以上第一当事者の死亡事故発生場所の高速・一般道別比較(平成27年中)



5) 75歳以上高齢運転者死亡事故の発生場所比較(2) (平成27年)

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について類型毎の発生場所を見てみると、車両単独、車両相互の死亡事故は非市街地において発生するケースが多い一方、人对車両の死亡事故は人口集中市街地において発生するケースが多い。
- 加えて、75歳未満の運転者による死亡事故と比較すると、概ねの傾向は変わらないものの、75歳以上高齢運転者は全ての類型において非市街地で発生するケースが多い。

図 原付以上第一当事者の死亡事故発生場所の類型別比較(平成27年中)

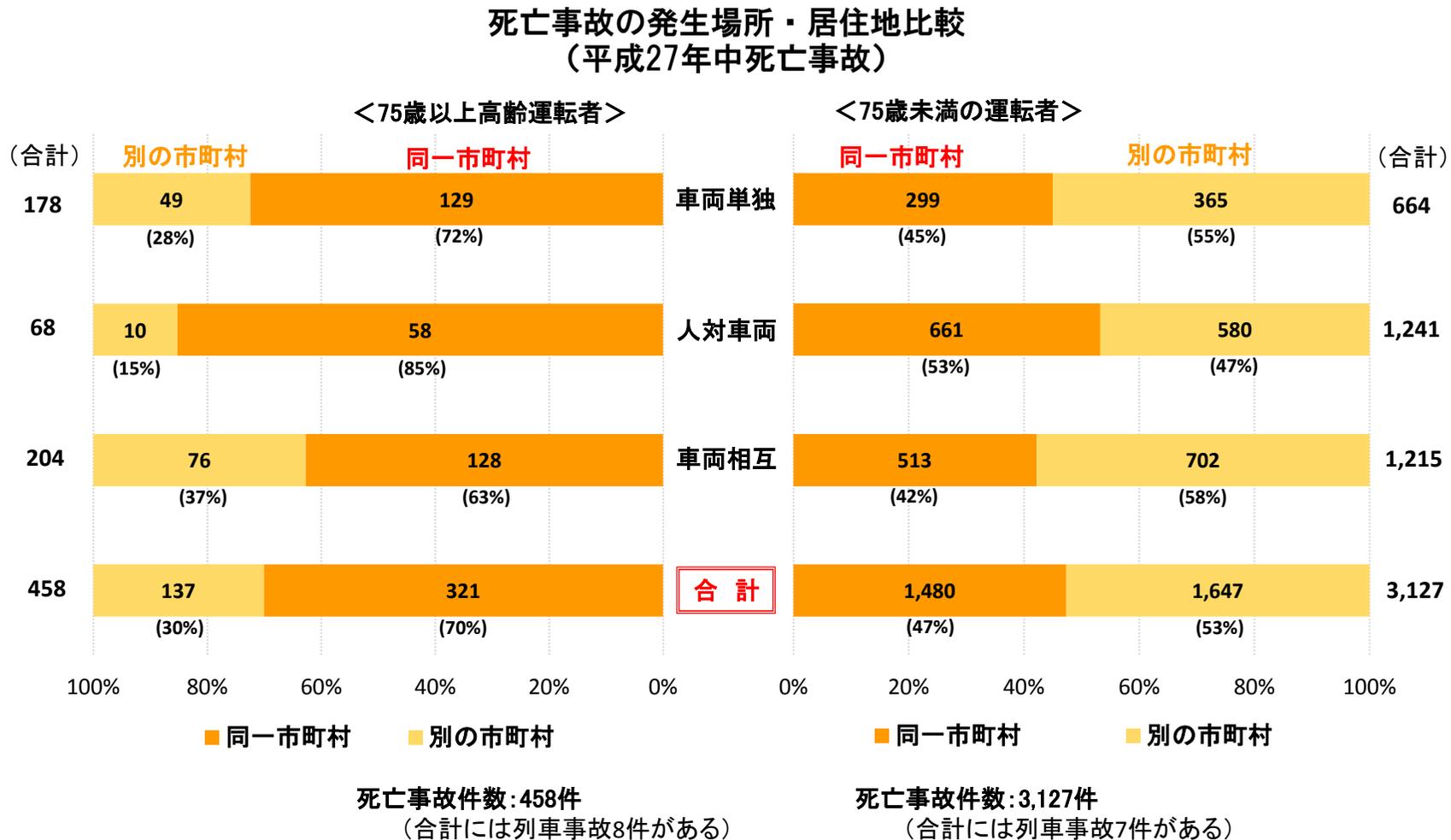


(注) 「市街地」とは、道路に沿っておおむね500m以上にわたって住宅等の建築物が連立している状態であって、その地域における建築物・敷地の占める割合が80%以上になる地域をいい、「人口集中市街地」とは、市街地のうち総務省人口集中地区境界図において人口集中地区として示されている地域(基本単位区の人口密度が4,000人/km²以上、かつ隣接する基本単位区との合計人口が5,000人以上)をいう。また、「非市街地」とはこれら以外の地域をいう。

6) 75歳以上高齢運転者死亡事故の発生・居住場所比較（平成27年）

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について発生場所と居住地との関係を見てみると、**75歳以上高齢運転者は、75歳未満の運転者と比較して同一市町村内での死亡事故を起こす場合が多い。**

図 原付以上第一当事者の死亡事故発生場所・居住地比較（平成27年中）

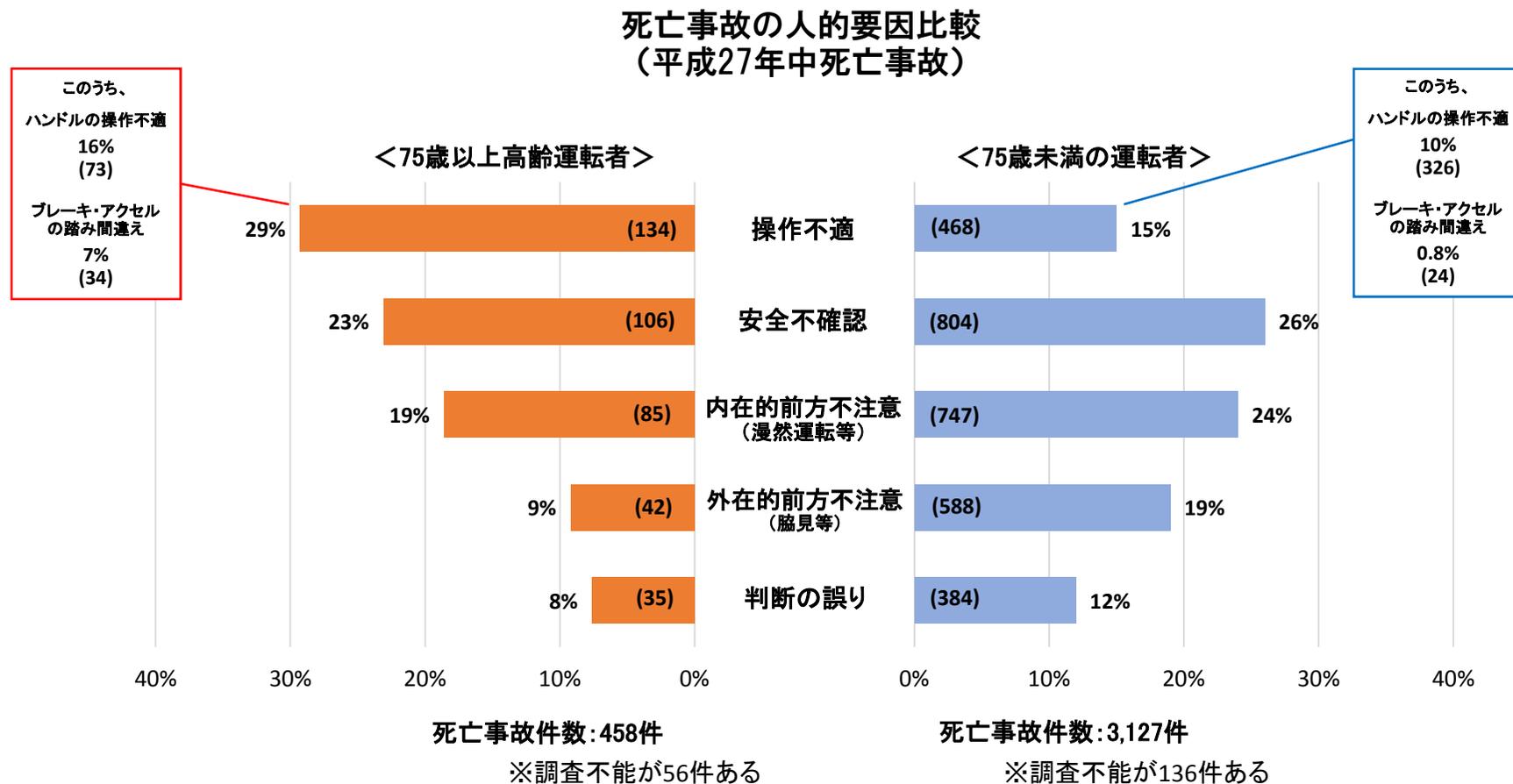


※居住地不明者は「別の市町村」に計上した。

7) 75歳以上高齢運転者死亡事故の人的要因比較（平成27年）

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故について人的要因をしてみると、**操作不適が最も多く、次いで安全不確認、内在的前方不注意（漫然運転等）の順に多く発生している。**
- 一方、75歳未満の運転者による死亡事故は、**安全不確認によるものが最も多く、次いで内在的前方不注意（漫然運転等）、外在的前方不注意（脇見等）の順に多く発生している。**

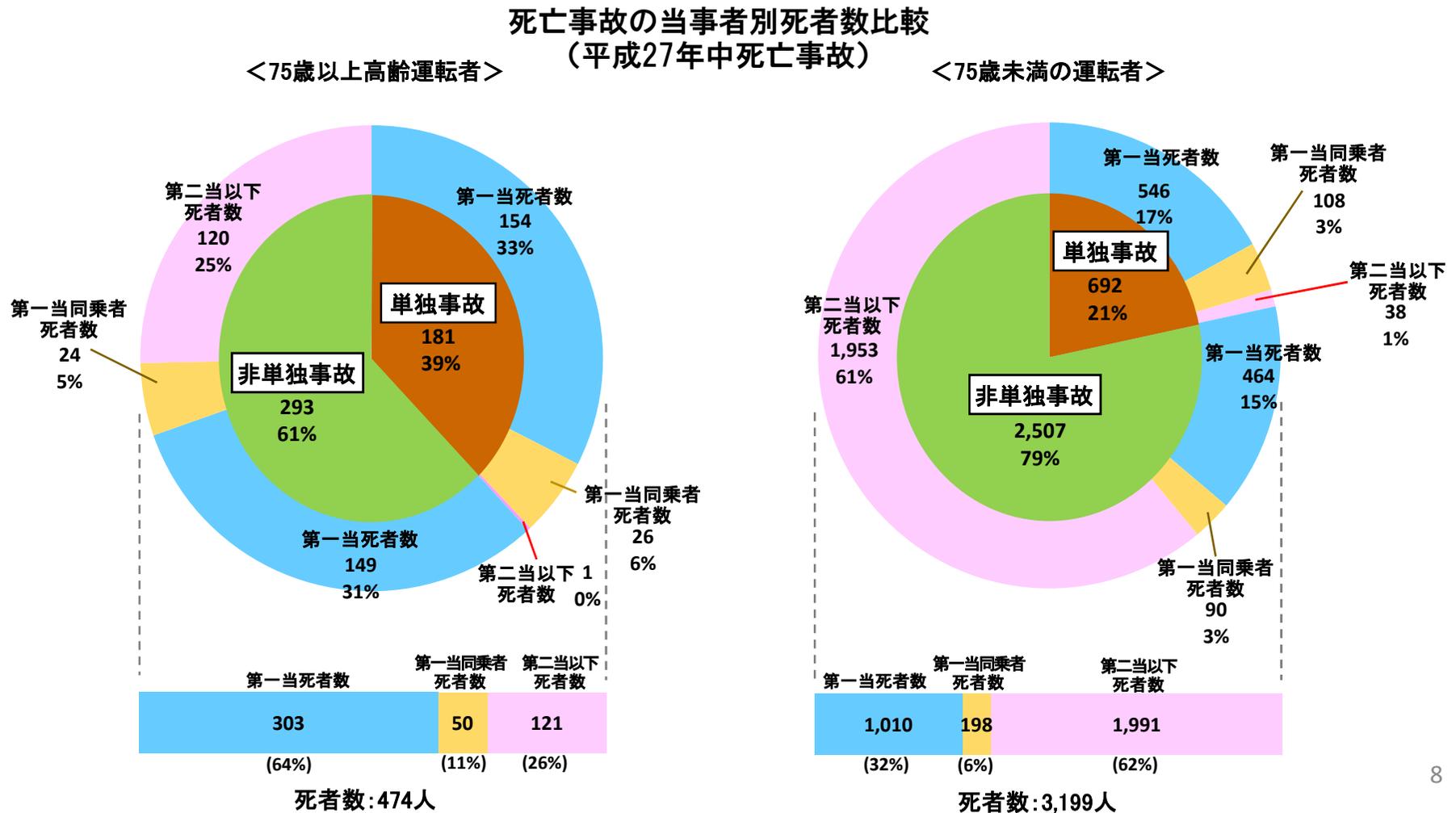
図 原付以上第一当事者の死亡事故における人的要因比較（平成27年中）



8) 75歳以上高齢運転者死亡事故の当事者別死者数比較(平成27年)

- 平成27年中に発生した75歳以上高齢運転者による死亡事故における当事者別死者について見てみると、全体のうち39%は単独事故による死者で、75歳未満の運転者と比較して高い割合を占めているほか、第一当事者の死者数が多い。
- 一方、第二当以下死者数は、75歳未満の運転者による死亡事故で割合が高い。

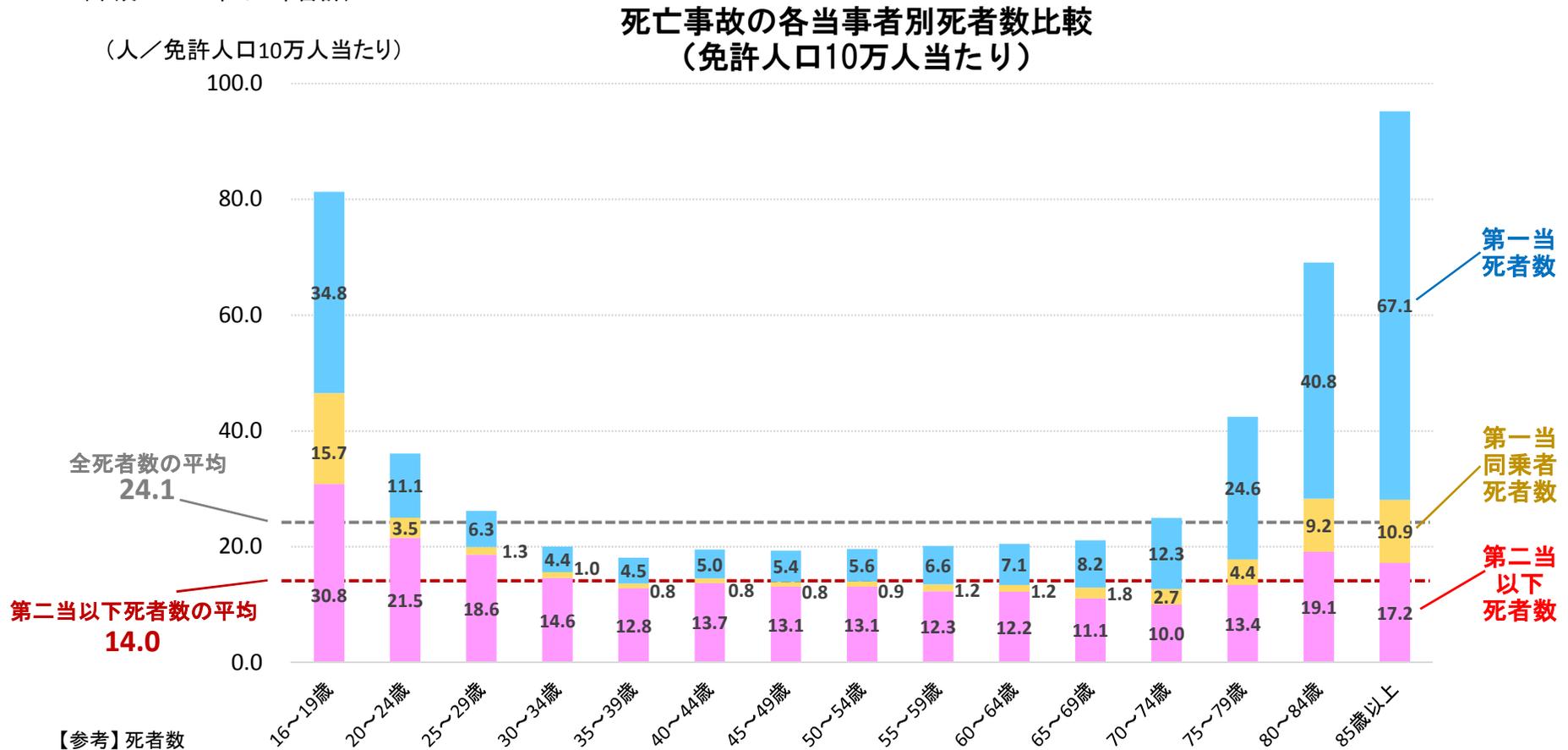
図 原付以上第一当事者の死亡事故における当事者別死者数比較(平成27年中)



9) 全年齢層における当事者別死者数(1)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における各当事者の死者数について、75歳を境に、第一当事者死者数が同乗者・第二当事者以下死者数を上回る。
- また、第二当事者以下死者数は、16歳から34歳、80歳以上の年齢層で多くなる。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)死亡事故における第一当事者、第一当事者同乗者、第二当事者以下死者数比較(平成23~27年の5年合計)



【参考】死者数

第一当死者数	362	535	389	315	382	458	427	394	447	553	534	561	631	512	288
第一当同乗者死者数	163	170	83	73	72	70	60	64	84	92	116	123	112	116	47
第二当以下死者数	321	1,038	1,157	1,042	1,091	1,258	1,037	928	836	951	722	458	344	240	74
合計	846	1,743	1,629	1,430	1,545	1,786	1,524	1,386	1,367	1,596	1,372	1,142	1,087	868	409

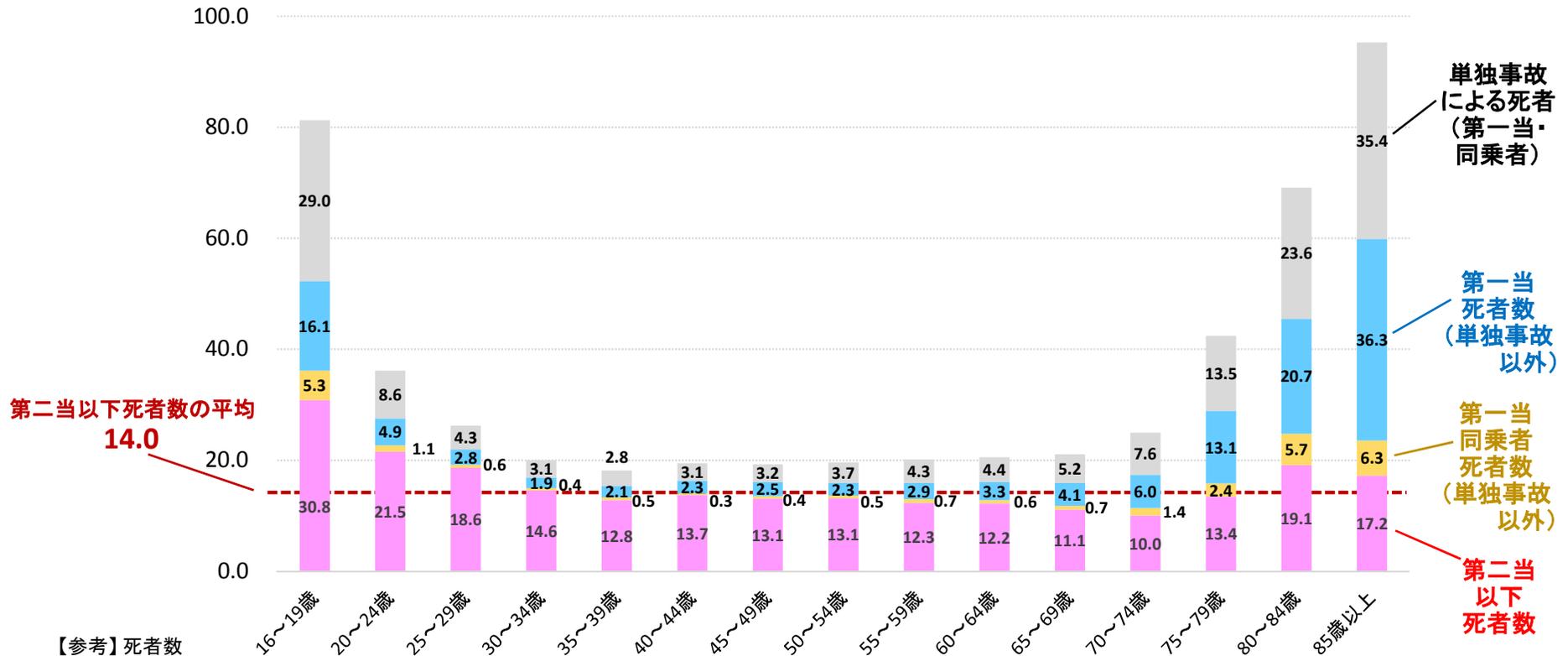
10) 全年齢層における当事者別死者数(2)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における各当事者の死者数について、16歳から19歳、75歳以上の年齢層は特に単独事故による死者が多くなる。
- また、第二当事者以下死者数は、16歳から34歳、80歳以上の年齢層で多くなる。(再掲)

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)死亡事故における第一当事者、第一当事者同乗者、第二当事者以下死者数比較(平成23~27年の5年合計)

死亡事故の単独・非単独事故別の各当事者別死者数比較
(免許人口10万人当たり)

(人/免許人口10万人当たり)
100.0



【参考】死者数

単独事故死者	302	415	266	222	237	287	252	259	289	341	336	347	347	297	152
第一当死者(単独以外)	168	235	171	137	178	213	201	164	197	260	269	274	335	260	156
同乗者死者(単独以外)	55	55	35	29	39	28	34	35	45	44	45	63	61	71	27
第二当以下死者	321	1,038	1,157	1,042	1,091	1,258	1,037	928	836	951	722	458	344	240	74
合計	846	1,743	1,629	1,430	1,545	1,786	1,524	1,386	1,367	1,596	1,372	1,142	1,087	868	409

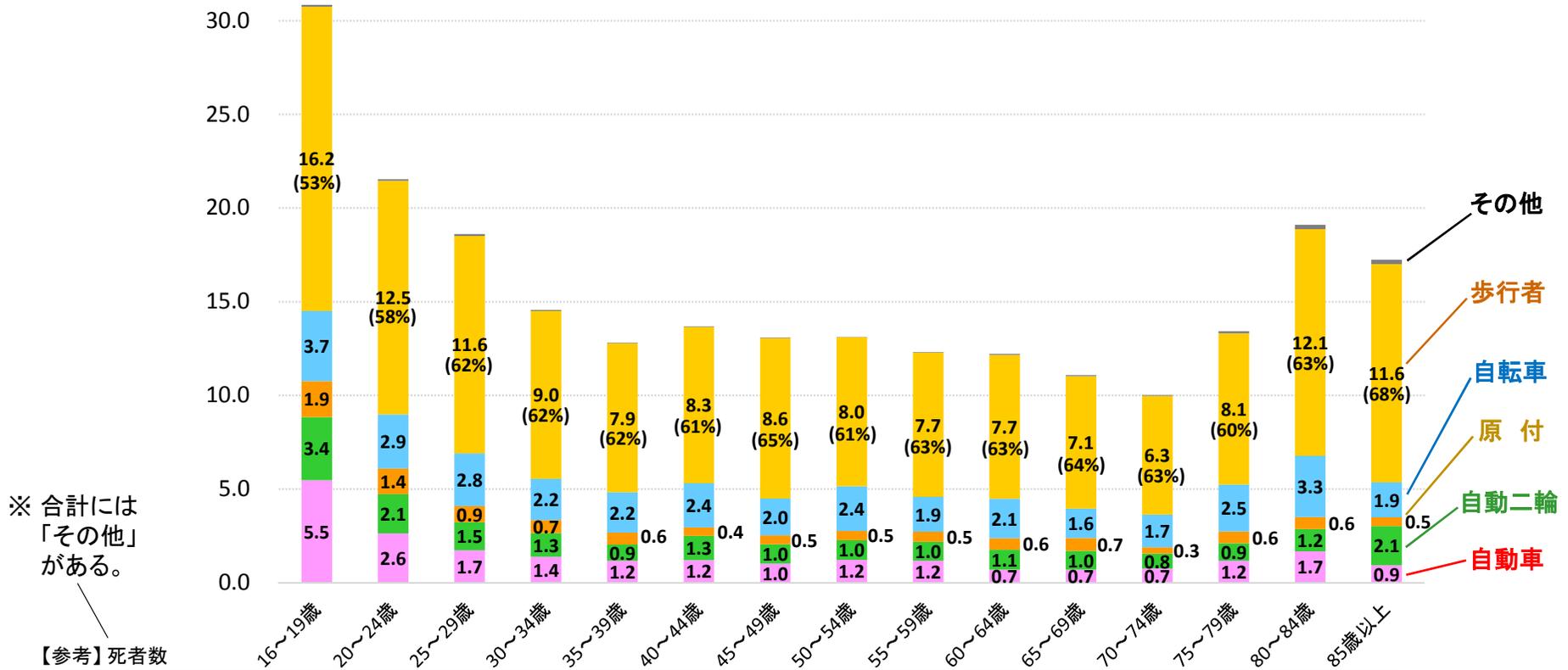
11) 全年齢層における当事者別死者数(3)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く死者数の状態別内訳をしてみると、どの年齢層においても歩行者を死亡させる事故が最も多く、また若年運転者は自動車乗車中の相手方を死亡させる事故が比較的多い。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く第二当事者以下死者の状態別比較(平成23~27年の5年合計)

死亡事故の第一当事者及び同乗者を除く死者のうち 状態別死者数比較(免許人口10万人当たり)

(人/免許人口10万人当たり)



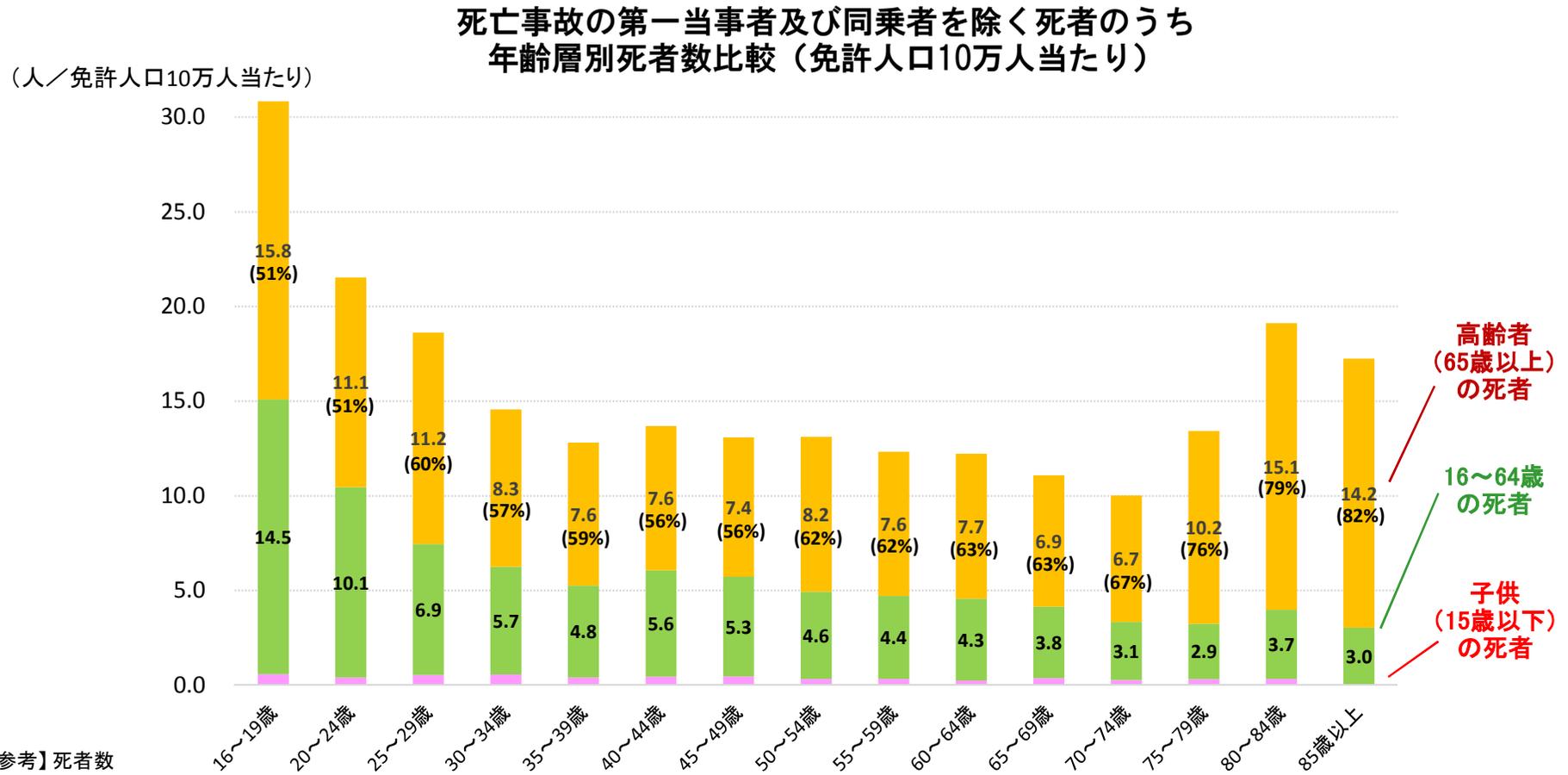
【参考】死者数

	16~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
歩行者	169	601	722	641	677	767	679	563	523	598	460	290	207	152	50
自転車	39	139	175	158	184	217	156	169	127	165	103	80	64	41	8
原付	20	66	53	50	54	41	38	35	36	47	44	15	16	8	2
自動二輪	35	101	94	91	73	119	82	74	68	83	66	37	24	15	9
自動車	57	127	107	98	100	111	80	86	80	54	45	34	30	21	4
合計	321	1,038	1,157	1,042	1,091	1,258	1,037	928	836	951	722	458	344	240	74

12) 全年齢層における当事者別死者数(4)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く死者数の年齢層別内訳を見てみると、どの年齢層においても高齢者を死亡させる事故が多い。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く第二当事者以下の年齢層別比較
(平成23~27年の5年合計)



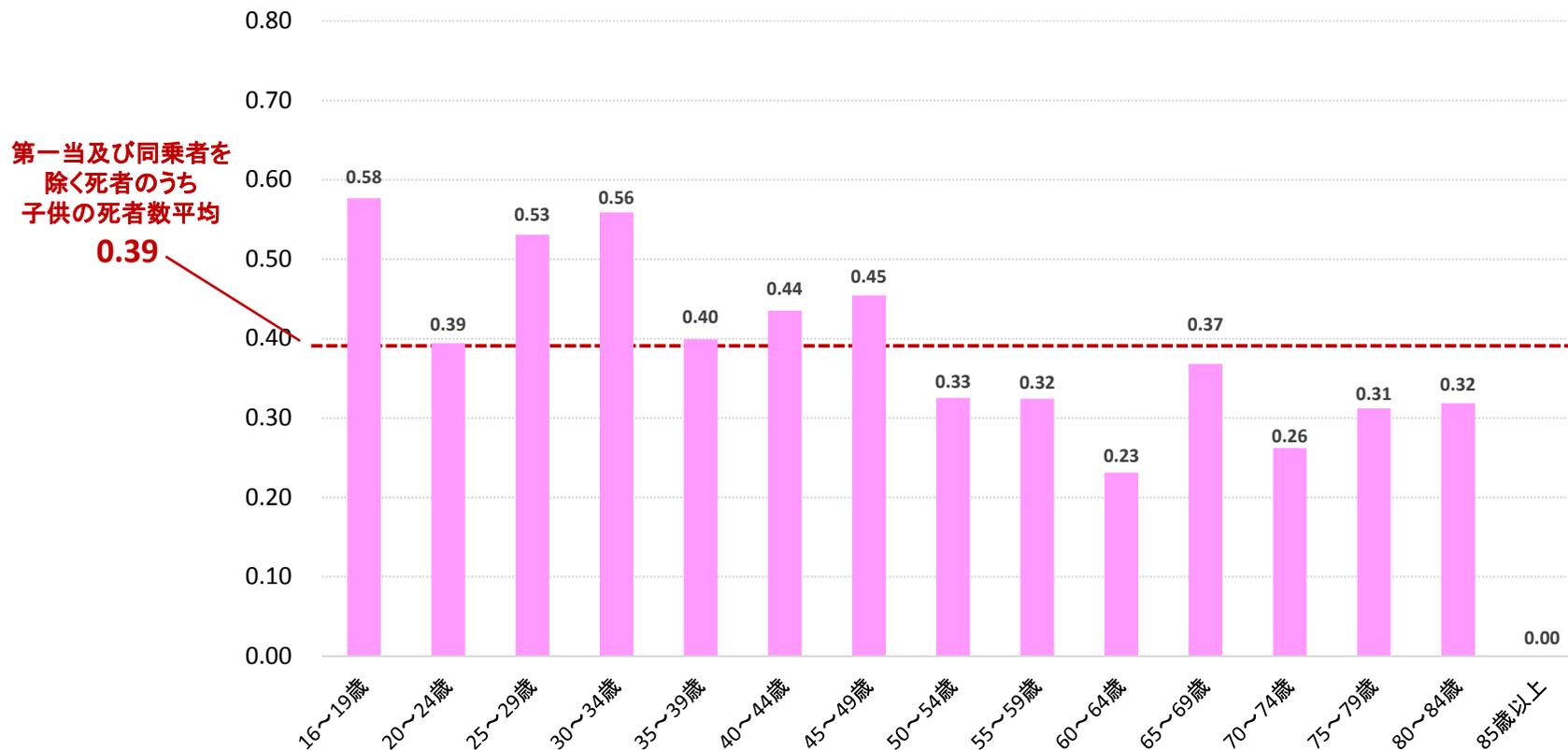
13) 全年齢層における当事者別死者数(5)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く死者数のうち、子供の死者数について見てみると、50歳以上の運転者による子供死者数は、全年齢層の子供死者数平均を下回っている。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)死亡事故における第一当事者及び同乗者を除く第二当事者以下死者のうち、子供(15歳以下)の死者数比較(平成23~27年の5年合計)

死亡事故の第一当事者及び同乗者を除く死者のうち
子供の死者数比較(免許人口10万人当たり)

(人/免許人口10万人当たり)

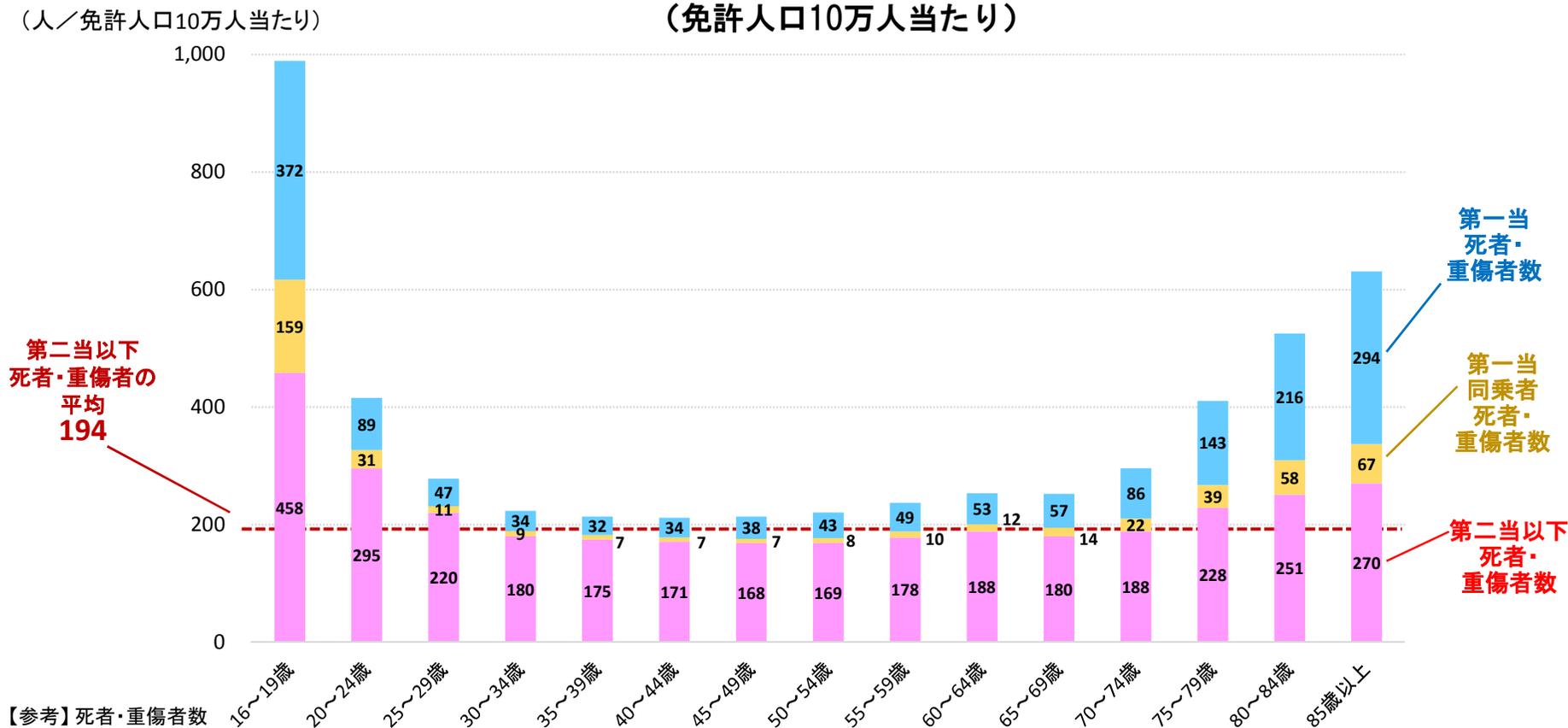


14) 全年齢層における当事者別死者数(6)(平成23~27年の5年合計)

- 免許人口10万人当たり死亡事故における第一当事者、同乗者、第二当事者以下の死者・重傷者数を比較すると、第二当事者以下死者・重傷者数は16歳から29歳、75歳以上の年齢層が多い。

図 免許人口10万人当たりの原付以上運転者(第一当事者)交通事故における第一当事者、第一当事者同乗者、第二当事者以下死者・重傷者数比較 (平成23~27年の5年合計)

交通事故の各当事者別死者・重傷者数比較
(免許人口10万人当たり)



【参考】死者・重傷者数

第一当死者・重傷者数	3,877	4,294	2,899	2,466	2,699	3,108	2,990	3,076	3,302	4,116	3,736	3,928	3,675	2,710	1,262
第一当同乗者死者・重傷者数	1,653	1,494	712	632	621	624	589	587	696	927	944	1,002	988	730	286
第二当以下死者・重傷者数	4,767	14,243	13,674	12,884	14,862	15,710	13,330	11,936	12,080	14,666	11,751	8,609	5,854	3,153	1,160
合計	10,297	20,031	17,285	15,982	18,182	19,442	16,909	15,599	16,078	19,709	16,431	13,539	10,517	6,593	2,708